

3. 経営学部の4年間の学び

経営学部では、4年間の学びを価値あるものとするため、1年次「経営学概論A/B」を配置して、「企業」または「会社」経営の基本について学びます。2年次からは、各自が選択した各コースのカリキュラムに従い、それぞれが専門的知識の習得と能力の開発に努めます。

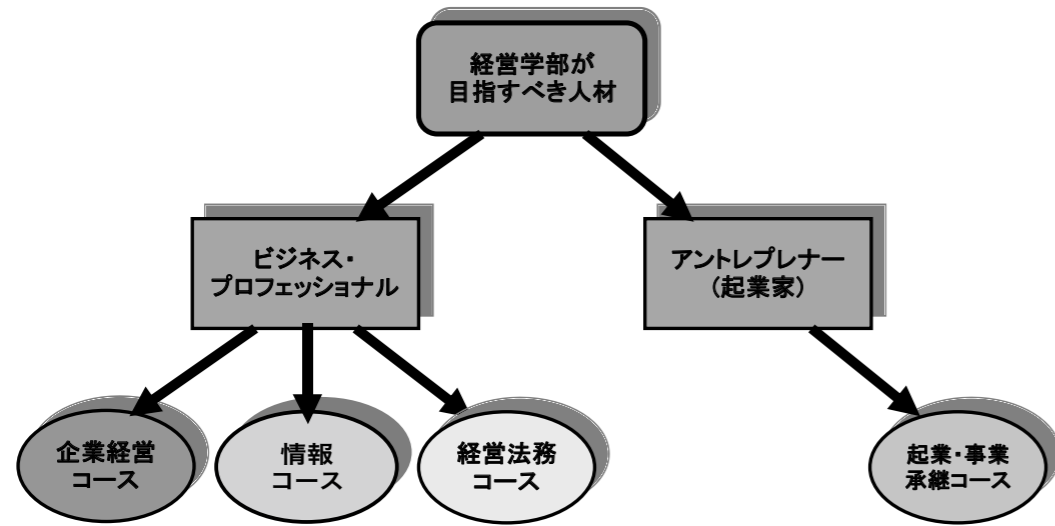
「企業経営コース」は、将来、ライン部門やスタッフ部門の最前線で活躍する国際的視野を持ったビジネス・プロフェッショナルを養成すべく、企業を構成するヒト、モノ、カネ、情報からなる経営資源のマネジメント（経営）について学習します。

「経営法務コース」は、主にスタッフ部門のビジネス・プロフェッショナルに不可欠なスキルである法令遵守を理解するため、実践的な法律知識の基礎を学習します。

「情報コース」は、主に情報システム部門や情報通信産業で活躍できるビジネス・パーソンの育成を目指し、経営学の知識に加えてプログラミングやデータベースなどのコンピュータを使用した実践的なIT技術を学びます。

「起業・事業承継コース」は、アントレプレナー（起業家）を養成するコースで、ここでは、会社を起業するうえで必要な技術、企業家としての心得・精神、将来の事業後継者として必要な知識や能力を学びます。

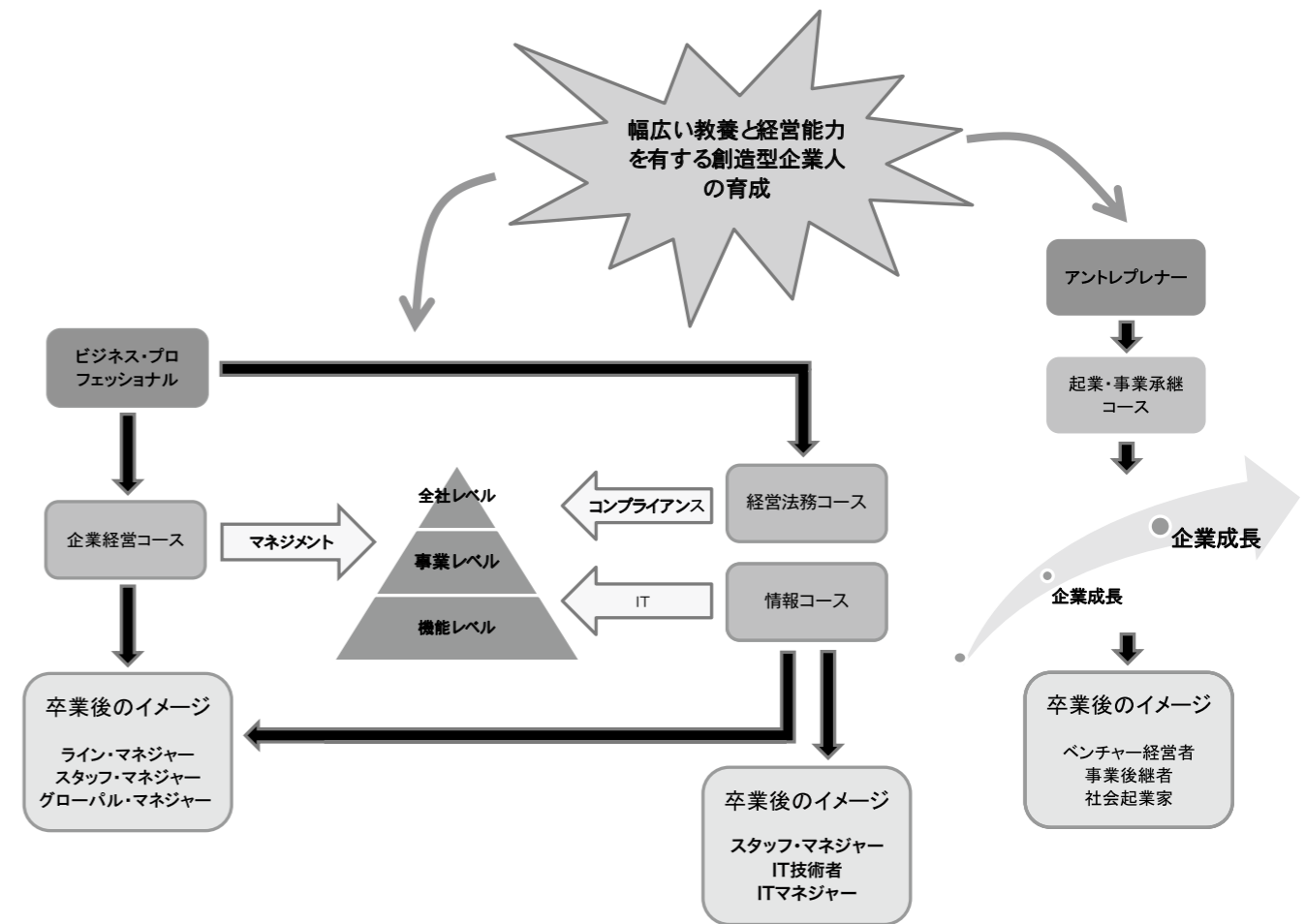
各コースの位置づけ



経営学部の履修体系図

	1年次	2年次	3年次	4年次	
	ゼミ I	ゼミ II	ゼミ III	ゼミ IV	
全学共通科目 (必修)	「法律系科目」「経済系科目」「商学系科目」				経営学部 専門科目
英語 I/II (日本語 I/II) 基礎コンピュータ I/II	簿記 I/II 経営学概論 A/B	経営史 A/B 経営戦略論 A/B 経営組織論 A/B 経営管理論 A/B	国際経営論 A/B		学部 専門科目
全学共通科目 (選択必修)					
外国語科目 体育科目 総合科目 留学生科目	生産管理論 A/B 販売管理論 A/B	経営工学 A/B 経営財務論 A/B 経営労務論 A/B 資金管理論 A/B 情報管理論 A/B			企業経営コース 専門科目
経営学部基礎科目 (選択必修)					
	企業法(企業形態法) 企業法(株式会社法) 経済法 A/B	企業法(知的財産法) 企業法(有価証券法) 労働法 A/B、税法 A/B 行政法 A/B、労働基準法			経営法務コース 専門科目
教養科目 (人文領域) (社会領域) (自然領域) 情報科目	情報管理論 A/B マーケティング情報論 A/B	マルチメディア I/II データベース管理 SQL I/II 情報ネットワーク I/II 経営工学 A/B 経営情報論 A/B			情報コース 専門科目
	事業創造論 A/B 中小企業経営論 A/B ゼミ II	企業家論 A/B、企業研究 A/B 事業計画論 A/B、企業経営実習 ゼミ III	ゼミ IV		起・事コース 専門科目

経営学部4年間の学び (イメージ)



4. コース制について

1. コースの選択について

- 専門性の探究のために2年次より全員が以下の4コースのいずれかを選択しなければなりません。
- コース登録は2年進級時の履修登録時に本人の申請により決定します。
- コースは2年以降のゼミと密接に関係しますのでゼミ募集時(概ね1年次の11月)のゼミ選択の際に十分に考慮してください。
- 他コースへの変更はコース登録した翌年(通常は3年次)に1度だけ変更できます。
- 所属コースによって卒業要件が異なります。コースを選択することは自分の専門分野を決定することです。

2. 各コース

(1) 企業経営コース

本コースは、ライン部門やスタッフ部門のマネジメントの基本を学ぶコースです。生産、営業、販売など、主に会社の実務を担当するライン部門のビジネス・プロフェッショナルを育成するため「生産管理論A/B」、「経営工学A/B」、「販売管理論A/B」をコース専門科目として配置しています。また、これらライン部門を管理・支援する役割を担っているスタッフ部門のビジネス・プロフェッショナルを育成するため、本コースでは「経営財務論A/B」、「経営労務論A/B」、「賃金管理論A/B」、などのコース専門科目を用意しています。

(2) 経営法務コース

本コースは、会社のスタッフ部門で活躍するすべてのビジネス・プロフェッショナルにとって非常に重要な法令遵守に関連する知識を身につけるため、企業法務の基本について学ぶコースです。近年、企業の不祥事や訴訟などが増加の一途を辿っています。そして、これらの多くが経営者やマネジャーたちの法令遵守の精神の欠落に原因があるとされています。今日の企業は自社利益の追求とその最大化を目指す前に、消費者、株主、従業員さらに地域社会への貢献というビジネスの原点に立ち返る必要があります。こうした重要な課題を克服するため、本コースでは「企業法(企業形態法)」「企業法(株式会社法)」「経済法A・B」「労働法A・B」「企業法(知的財産法)」「企業法(有価証券法)」「税法A・B」「行政法A・B」「労働基準法」をコース専門科目として配置しています。

(3) 情報コース

本コースは、一般企業の情報システム部門や情報通信産業、インターネット・コンテンツ産業において活躍できるビジネス・パーソンを養成するコースです。コースの特徴として、企業経営に関する多彩な科目を学べると同時に、プログラムやデータベースなど実際にコンピュータを使用した実践的な情報通信技術を学ぶことで、そうした情報通信技術をどのように経営に活かしていくか、といったIT～経営のつながりについて詳しく理解と習得をすることができます。こうした総合的な視点から経営ならびに情報技術を学ぶために、本コースでは基礎科目として経営基礎科目に加えてコース専門科目として「コンピュータ概論I/II」「応用表計算(関数)(マクロ)」「データベースI/II」「マルチメディアI/II」「経営工学A/B」「経営情報論A/B」「情報ネットワークI/II」「データベース言語SQL I/II」などを配置しています。

(4) 起業・事業承継コース

将来の事業後継者そしてベンチャー経営者を育成するため設置されたコースです。高度成長時代、日本の中小企業は、わが国の産業競争力を下支える基盤またはイノベーションの源泉として重要な役割を担ってきました。ところが、低成長時代を迎え、今日の中小企業は、未熟な経営や後継者不足から衰退の一途を辿っています。こうした時代背景から設置されたのが起業・事業承継コースです。本コースは、国内のみならず、グローバルな視野に立ったアントレプレナー(起業家)の育成を目標としています。このため、「事業計画論A/B」、「中小企業経営論A/B」、「企業家論A/B」、「事業創造論A/B」のようなコース専門科目に加え、「企業研究A/B」、「企業経営実習」のような実践的なカリキュラムも用意しています。さらに、本コースでは、少人数制による専門ゼミナールを重視しており、教員と学生による一対一の指導を通じて能力の開発と向上に努めています。

5. 教育プログラム表について

教育プログラム表の見かた

- ①「専門的知識とスキルの修得」の欄に各コース・専攻の学習到達目標が示されています。
- ②「科目名」の欄に各コース・専攻に配置されている専門科目がすべて挙げられています。各科目が担っている目標項目は◎（特に重要な目標項目）と○（重要な目標項目）で示されています。
- ③「当該科目を受講する前に履修してほしい科目」の欄に各専門科目を受講する前に履修してほしい科目は何かが示されています。これは履修の前提条件となる「前提科目」とは異なりますが、各コース・専攻の学習到達目標を達成するためには、これを念頭に置いて履修することが望ましいと考えられます。
- ④「履修モデル（ガイド）」の欄に、いくつかの職業イメージや学習内容に対応する履修すべき科目が◎（特に履修すべき科目）と○（履修するのが望ましい科目）が示されています。

★専門科目を履修する際には、必ず上の①～④を確認してから、履修科目を決めましょう。

教育プログラム表

全学共通科目

到達目標	到達目標の具体的内容	履修年次	対応科目
【全学共通科目到達目標】自己学習力 (専門的な学びの土台づくり)	①外国語基礎	1～	英語 I (Bレベル・Cレベル) / 英語 II (Bレベル・Cレベル) / 基礎英語 (文法・読解) / 基礎英語 (リスニング・作文) / 英会話 / ビジネス英語
	(1)言語	②外国語発展	1～ 2～
③海外留学・海外研修		1～ 2～	中国語 II (読解) / 中国語 II (作文)
(2)体育	◎英語の4技能を向上させ、かつ英語圏の社会・文化・歴史を理解した上でのコミュニケーションをとることができる。 ◎中国語会話のスキルを高め、コミュニケーションをとれるようになる。中国政治経済・文化・社会・歴史を理解する。	2～	中期留学事前英語演習 / 中期留学事後英語演習
(3)総合	◎さまざまなスポーツの技術、ルール、戦略について理解し、それらを実践できる。 ◎身体運動、チームワーク、健康管理の意義を理解している。	1～	短期留学事前中国語演習 / 短期留学事後中国語演習
(4)日本の文化・社会【留学生用】	◎国際分野を成すさまざまなトピックについて、社会を見つめる視点（大学の通常の授業で学習する際とは異なる視点）から知識を習得している。	2～	総合科目(春) / 総合科目(秋)
	◎文化の背景である文化に関する知識や日本の社会と仕組みに関する教養を習得している。	1～	日本の文化と歴史 / 日本の産業と社会

学部基礎科目

到達目標	到達目標の具体的内容	履修年次	対応科目
【学部基礎科目到達目標】自己学習力 (知的好奇心の涵養)	①情報基礎	1～	基礎コンピュータ I / 基礎コンピュータ II / コピュタ概論 I / コピュタ概論 II
	(1)情報	②情報発展	1～ 2～
(2)教養		①人文領域	1～
	②社会領域	1～	経済学(ミクロ基礎) / 経済学(マクロ基礎) / 憲法(人権) / 憲法(統治) / 法学(生活と法) / 法律学(生活と法) / 政治学 / 国際政治
	③自然領域	1～	基礎数学(代数・幾何) / 数学(確率・統計) / 地球科学 / 宇宙科学 / 生命科学 / 物質科学 / 心の科学

企業経営コース

学習到達目標				専門的知識とスキルの修得(企業経営コース)			
				①企業経営はどのような役割から構成されているか、その全体像を理解する	②組織構造、経営環境、経営管理、経営戦略の相互関係を理解する	③組織構造の構成要素を理解する	④経営環境の構成要素を理解する
具体的イメージとレベル (達成度合いを示す具体的な例→達成度を評価する判断基準)				・「企業経営の役割とは何か」、また「企業経営を構成する要素は何か」を説明できる(企業経営に関する理論・知識の習得) ・企業経営が身近な生活や現実社会における問題や課題等とどう関係するかが理解できる(企業経営に関する理論・知識の実践)	・組織構造、経営環境、経営管理、経営戦略がどのように関係しているかを説明できる ・組織構造、経営環境、経営管理、経営戦略の相互関係における問題や課題等とどう関係するかが理解できる	・「組織構造とは何か」、また「組織構造を構成する要素は何か」を説明できる(組織構造に関する理論・知識の習得) ・企業の組織構造が身近な生活や身近な生活や現実社会における問題や課題等とどう関係するかが理解できる(組織構造に関する理論・知識の実践)	・「企業経営における経営環境とは何か」、また「経営環境を構成する要素は何か」を説明できる ・企業における経営環境が身近な生活や現実社会における課題や問題等とどう関係するかが理解できる(経営環境に関する理論・知識の実践)
区分	分類	科目名	履修年次				
学部必修科目		経営学概論A	1~	◎	○	○	○
		経営学概論B	1~	◎	○	○	○
		簿記I	1~				
		簿記II	1~				
学部選択必修科目		はじめての経営学	1~	◎	○	○	○
		経営史A	2~	◎	○		○
		経営史B	2~	◎	○		○
		経営管理論A	2~	○	○	○	○
		経営管理論B	2~	○	○	○	○
		経営戦略論A	2~		○		
		経営戦略論B	2~		○		
		経営組織論A	2~	○	○	◎	○
		経営組織論B	2~	○	○	◎	○
		国際経営論A	3~		◎		
	国際経営論B	3~		◎			
企業経営コース専門科目	選択必修科目	生産管理論A	2~	◎			◎
		生産管理論B	2~	◎			◎
		販売管理論A	2~		○		○
		販売管理論B	2~		○		○
		経営心理学A	2~	○		◎	○
		経営心理学B	2~	◎		○	
		情報管理論A	2~	○		◎	
		情報管理論B	2~	○		◎	
		経営工学A	3~	○			○
		経営工学B	3~	○			○
		経営財務論A	3~				○
		経営財務論B	3~				○
		経営労務論A	3~				◎
		経営労務論B	3~				◎
		資金管理論A	3~				◎
		資金管理論B	3~				◎

専門的知識とスキルの修得(企業経営コース)					⑨経営学部の学びの基礎として、ビジネス言語である簿記の基礎知識を得ている
⑤経営管理の役割とその構成要素を理解する	⑥経営戦略の役割とその構成要素を理解する	⑦企業経営の展開に関わる要素とその役割を理解する	⑧経営学部での専門的な学びを補完する知識を得ている	⑨経営学部の学びの基礎として、ビジネス言語である簿記の基礎知識を得ている	
・「経営管理の役割とは何か」、また「経営管理を構成する要素は何か」を説明できる(経営管理に関する理論・知識の習得) ・企業の経営管理が身近な生活や現実社会における問題や課題等とどう関係するかが理解できる(経営管理に関する理論・知識の実践)	・「経営戦略の役割とは何か」、また「経営戦略を構成する要素は何か」を説明できる(経営戦略に関する理論・知識の習得) ・企業の経営戦略が身近な生活や現実社会における問題や課題等とどう関係するかが理解できる(経営戦略に関する理論・知識の実践)	・「企業経営の展開に関する要素は何か」、また「その各要素の役割は何か」を説明できる(企業経営の構成要素に関する理論・知識の習得) ・企業経営の展開に関わる要素が身近な生活や現実社会における問題や課題等とどう関係するかが理解できる(企業経営の構成要素に関する理論・知識の実践)	ビジネスにおけるさまざまな活動の前提となる経済の仕組みや法律などについて理解している。	企業を対象に、取引の記録から財務諸表の作成までの一連の処理手続きを理解している。	当該科目を受講する前に履修してほしい科目
○	○	○	○		
○	○	○	○		
				◎	
				◎	
○	○	○	○		
○	○	○	○		経営学概論A/B
○	○	○	○		経営学概論A/B
◎	○	○	○		
◎	○	○	○		経営管理論A/B
	◎				経営管理論A/B
○	○	○	○		
○	○	○	○		
○	◎				経営管理論A/B
○	◎				経営管理論A/B
○	○		○		経営学概論A
○	○		○		経営学概論B
		○			
○		○			
◎		◎			
◎		◎			
○	○	○	○		
○	○	○	○		
		◎			経営学概論A/B
		◎			経営学概論A/B
		◎			経営学概論A/B
		◎			経営学概論A/B

起業・事業承継コース

学習到達目標				専門的知識とスキルの修得(起業・事業承継コース)			
				①起業・企業経営に関する基礎理論を理解する	②経営計画・経営分析に関する基礎理論を理解する	③中小企業経営の特徴と課題について理解する	④企業家・経営者の役割と機能について理解する
具体的イメージとレベル (達成度合いを示す具体的な例一達成度を評価する判断基準)				・起業のプロセスについて説明できる。 ・企業家と企業家活動について理解している。 ・経営戦略、マーケティング、組織、簿記・会計、税務、経営管理に関する基礎理論を理解している。	・企業家・経営者の視点で経営計画立案ができる。 ・マネジメント・サイクルについて説明できる。 ・経営分析を行い、企業の内容の抽出や改善案の策定を行うことができる。	・経済・社会・文化における中小企業の位置づけ、役割を説明できる。 ・中小企業政策の意義と内容について理解している。 ・現代における中小企業経営の課題や新たな展開について理解している。	・経済・社会における企業家や経営者の役割・機能について理解している。 ・企業家の行う革新的な企業活動について、具体的な事例に基づいて理解している。 ・企業経営や経営発展に必要な企業家精神や企業家活動について理解している。
区分	分類	科目名	履修年次				
学部必修科目		経営学概論A	1~	◎		○	○
		経営学概論B	1~	◎		○	○
		簿記I	1~				
		簿記II	1~				
学部選択必修科目		はじめての経営学	1~	◎	○	○	○
		経営史A	2~	◎		○	○
		経営史B	2~	◎		○	○
		経営管理論A	2~	○	○		◎
		経営管理論B	2~	○	○		◎
		経営戦略論A	2~	○	○		○
		経営戦略論B	2~	○	○		○
		経営組織論A	2~	○	○		◎
		経営組織論B	2~	○	○		◎
		国際経営論A	3~	○	○		○
		国際経営論B	3~	○	○		○
	起業・事業承継コース専門科目	選択必修科目	事業創造論A	2~	◎		○
事業創造論B			2~				○
中小企業経営論A			2~	○	○	◎	○
中小企業経営論B			2~	○	○	◎	○
企業家論A			3~	○			◎
企業家論B			3~	○			◎
企業研究A			3~				◎
企業研究B			3~				◎
企業経営実習			3~	○	◎	◎	◎
事業計画論A			3~	○	◎		
事業計画論B			3~	○	◎		

専門的知識とスキルの修得(起業・事業承継コース)				当該科目を受講する前に履修してほしい科目
⑤新規事業創造の基礎理論について理解する	⑥上記①~⑤までの各内容と関連する知識について理解する	⑦経営学部での専門的な学びを補完する知識を得ている	⑧経営学部の学びの基礎として、ビジネス言語である簿記の基礎知識を得ている	
・事業機会の発見や評価ができる。 ・事業構想の策定や事業計画書の作成を行うことができる。 ・事業化までのプロセスや必要な経営資源の調達について理解できる。	・上記①~⑤までの各内容との関連において、以下の分野の知識を理解している。 ①資金調達 ②株式公開 ③M&A ④事業承継 ⑤リーダーシップ ⑥経営診断 ⑦財務分析 ⑧企業経営に係る実務	ビジネスにおけるさまざまな活動の前提となる経済の仕組みや法律などについて理解している。	企業を対象に、取引の記録から財務諸表の作成までの一連の処理手続きを理解している。	
		○		
		○		
			◎	
			◎	
○	○	○	○	
				経営学概論A/B
				経営学概論A/B
	○			
	○			
	◎			経営管理論A/B
	◎			経営管理論A/B
	○			
	○			
	◎			経営管理論A/B
	◎			経営管理論A/B
◎		○		
◎		○		
		○		
		○		
○	○	○		中小企業経営論A/B
◎	○		○	
◎	○		○	マーケティング論A/B

経営学部関連科目

到達目標	到達目標の具体的内容	履修年次	対応科目
【経営学部関連科目で専門的な知識を得ている到達目標を】	(1)法律分野 ○経営の管理、組織、戦略の学びの土台を形成する種々の法律について、その学びの基礎となる法的な思考様式の特徴を理解している。	2～ 3～	民法（法律行為）／民法（債権） 法文化論A／法文化論B／民法（契約）／民法（物権変動と担保）
	(2)ライフデザイン分野 ○自己とキャリア理論についての理解を深め、大学卒業後の職業生活の計画を作成する。自立した職業生活を計画・実現するための知識、ならびに職業生活から引退後の生活設計の柱となる年金制度について、その理論と知識を習得する。	2～ 3～	キャリアデザイン論A／キャリアデザイン論B 年金論A／年金論B
	(3)関連分野 ○経営学部での専門的な学びを補完する知識を得ている。	1～ 2～ 3～	マーケティング論A／マーケティング論B／金融総論A／金融総論B／会計学総論A／会計学総論B 地方自治A／地方自治B 外書講読A／外書講読B／地域開発論A／地域開発論B／経営学特別講義A/B 経済地理学A／経済地理学B